



ふるさとくまさんデー



くまもとじょう
熊本城

6月 6日 今日の献立

ひのくにパン

牛乳

ひごまるやさいと

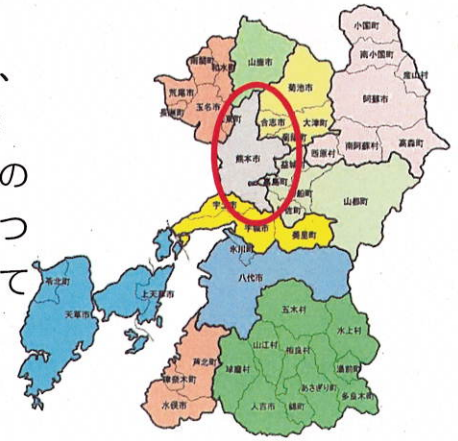
ペンのトマトソース

大豆とナッツのサラダ

くまもと市 熊本市

熊本県の県庁所在地である熊本市は、政令指定都市であり、「水と緑の都」とよばれる自然に恵まれたところです。熊本市の中心部には、日本三大名城の一つといわれる熊本城がそびえ立っています。

れんこん・大豆・キャベツ・せり・すいか・メロンなど色々な農産物が栽培されています。



出典：熊本県ホームページ

ひごまるやさい

「ひごまる」とは、熊本市のキャラクターの名前です。なす・トマト・ピーマンと熊本市でたくさん栽培されている野菜を使います。

なす

熊本市では西部地区を中心に、なすの栽培がさかんです。なすには色々な種類がありますが、日本だけでも約180種類以上あるといわれています。熊本市では「筑陽なす」「大長なす」「熊本赤なす」などが栽培されています。

なすは夏から秋が旬の野菜で、体の中から冷やす働きがあります。

トマト



「トマトが赤くなると医者が青くなる」という西洋のことわざがあるほどたくさんの栄養分が含まれているトマト。熊本市では天明・中島地区を中心に栽培されています。トマトの赤色は「リコピン」という色素によるものです。リコピンには生活習慣病を予防する働きがあります。



筑陽なす

大長なす

熊本赤なす

だいず

大豆は、中国北部からシベリア東部が原産で、日本には中国から伝わったといわれています。熊本市では、東部地区を中心に「フクユタカ」や「すすおとめ」などの品種の大豆が栽培されています。「フクユタカ」は豆腐やきなこ、味噌などに利用され、「すすおとめ」は納豆の原料となっています。

